

2009, 7, 4

新竹取物語～七夕まつり～

幸い好天に恵まれ、120人(大人 78人 小人 21人 乳・園児 21人)の方々がご参加下さり、新竹取物語～七夕まつり～を開催しました。

はじめに 私たちは、自然というかけがえのない財産に恵まれた高島市の魅力を伝えるツアーを組んだり、荒れた里山に手を加えて自然循環を甦らせ、後世まで残そうというボランティア活動をしています。この会場も2007,7から整備しています。3年前は、ヤブの入り口もなく、枯れた倒竹が背丈の倍以上あり、真っ暗でジャングルのような状態でした。地面は、カチカチで固くカエルやミミズも見当たりませんでした。地主さんが、「ミョウガ畑があるはずや」と、言われましたが、「エー」という感じで、確かに、細い細いものが数本ありました。

それが、こんなにすばらしい竹林に再生できました。「足踏みをしてみてください。」「まわりを見てください。緑のすばらしいミョウガ畑です。」太いみみずもモグラいます。

このように荒廃した竹藪は、人が再び関わることで豊かな自然を取り戻せました。今日は、ゆっくり五感で、さまざまな体験を楽しんでください。



受付



地元野菜など販売



竹林整備：竹チップ機械運転



ミョウガの葉で魚釣り体験



会場の様子



よし笛コンサート



タケノコ狩：燃料は竹材



栈敷



七夕飾り付け：中央で折り紙体験



カブト虫のお話



京都からご参加のみのりさんヨシ笛の練習・上手できました。



水鉄砲遊び



竹馬遊び



流しソーメン



パン食い競争





すいか割体験



じゃんけん大会



じゃんけん大会景品選び



今日はじめてよし笛の練習をされたみのりさんも一緒に演奏です。



プログラムの最後は、全員で「たなばた」「琵琶湖周航の歌」を合唱しました。

- お礼
私たちは、エコツーリズムで、失われつつある「人と人」「人と自然」「人と未来」のつながりを取り戻す地域づくりに努めています。私たちの目標は、高島ファンがたくさんできたらいいなあ・・・と思っています。そのために、私たちはこのようなイベントを企画しています。単に観るだけでなく、五感による体験をしていただき、感動や喜びで幸せを感じていただけるよう心がけています。
地元の者といらっしゃる方が共に感動し、ずっと未来まで共有し続けることができるよう、琵琶湖・高島の里山の自然を次世代に残せるよう、小さな努力を積み重ねていきます。
次回は、ここ新竹取物語の会場から、みなさんお一人お一人の願いと環境メッセージを全国に・世界に発信していただく企画を計画しています。ぜひ、ご参加ください。
本日は、ありがとうございました。

あどがわエコツアークラブ・湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部